会　　議　　録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第９条関係)

所管課	企画政策課

会議名 (審議会等名)	嬉野市地域公共交通活性化協議会及び嬉野市地域公共交通会議		
開催日時	平成 28 年 2 月 19 日(金)　　14：00～15：00		
開催場所	市役所塩田庁舎 3－2・3 会議室		
会議の公開の可否	(可)　・　不可　・一部不可	傍聴者数	1 人
公開不可・一部不可の場合はその理由			
出　席　者	委　員	中島会長、山口(秀)副会長、吉田委員、山口(富)委員、 辻田委員、宮崎委員、池田(朋)委員、津川委員、 原口氏(中村委員代理)、納所氏(遠山委員代理)、 庄司氏(中塚委員代理)、桑原委員、江上委員、山下委員	
	事務局	企画政策課長、企画政策課副課長、企画政策課主任	
	その他	【オブザーバー】 九州運輸局佐賀運輸支局企画専門官 3 名 佐賀県新幹線･地域交通課身近な移動手段確保推進室係長 1 名	
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	・平成 27 年度地域公共交通確保維持事業(乗合タクシー春日線・大野原線運行事業)実績について ・平成 27 年度協議会補正予算(案)について ・平成 28 年度協議会事業計画(案)、当初予算(案)について ・廃止路線代替バスについて		
審議等の内容	別紙のとおり		

審　議　等　の　内　容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第 9 条関係)

所管課	企画政策課

議　題	(1) 平成 27 年度地域公共交通確保維持事業(乗合タクシー春日線・大野原線運行事業)実績について (2) 平成 27 年度協議会補正予算(案)について (3) 平成 28 年度協議会事業計画(案)、当初予算(案)について (4) 廃止路線代替バスについて	
内　容	・事務局より、平成 27 年度域公共交通確保維持事業(乗合タクシー春日線・大野原線運行事業)実績、平成 27 年度協議会補正予算(案)、平成 28 年度協議会事業計画(案)・当初予算(案)ならびに廃止路線代替バスについて説明を行った。	
審議経過	事務局	昨年 6 月に開催した協議会の席で、嬉野中学校の池田先生の方から、「協議会の構成メンバーには春日線と大野原線の沿線である吉田小中学校や大野原小中学校の先生が適任ではないか」とのご意見がありました。これについてお答えさせていただきます。 協議会は先日お配りしました『嬉野市地域公共交通総合連携計画』に関する協議を行う場となっております。連携計画では乗合タクシー春日線・大野原線だけではなく、嬉野市全域の公共交通および近隣市町との広域交通のことを謳っております。そのため、平成 20 年の協議会発足時に市内小中学校を代表として、嬉野中学校と嬉野小学校の先生方を構成メンバーとさせていただいた経緯があり、それを今日まで引き継いでいる形となっております。ただ将来的に、春日線・大野原線について見直し等の検討事項が出てきた場合は、当然吉田小中学校、大野原中学校とも協議をしなければなりませんので、その際は協議会に参加していただくことも必要だと考えておりますが、当面は嬉野中学校、嬉野小学校の先生方を構成メンバーとした形協議会で進めさせていただきたいと思いますので、その旨ご理解をお願いします。
	委員	わかりました。
	オブザーバー	国も財政状況が厳しい中申請団体は増え続けている状況にあります。利用人数についても、1～2 名の増減で年間にするとのべ 200 人以上の増減になってくるような状況の中、嬉野市さんに場合は極端に減ってはいないようです。 今後、特に利用者の方が「便利だよ」と他の方にアピールしていただくなどして、1 人でも多くの方に利用していただければ、長きに渡って

	オブザーバー つづき	維持できるのではないと考えております。 　委員の皆様におかれましても、自分達のまちの大切なバスであることを再認識をしていただき、利用促進にご協力いただければと思っております。
	事務局	路線バスについては全国的な状況でもありますが、嬉野市も例外ではなく非常に厳しい状況でございます。 ただ先日、牛の岳線、下吉田線沿線の区長さんから、「バスは非常に大切な交通手段なので今後も絶対に必要である」旨切々と訴えられた。 高齢者や子どもさんといった交通弱者の方々の足を守る意味でも、市としては現廃止代替路線を継続していきたいと考えております。 ◆審議の結果、平成 27 年度協議会補正予算(案)についておよび平成 28 年度協議会事業計画(案)、当初予算(案)について承認された。
その他		